※令和４年度以降入学生用

学校番号	3023

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	世界史探究	単位数	３単位	年次	３年次
使用教科書	「詳説世界史探究」（山川出版社）						
副教材等	「実践攻略 歴史総合世界史探究 大学入学共通テスト問題集」（実教出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・地理歴史科の探究科目として開設します。古代から現代までのアジア・ヨーロッパ・南北アメリカ・アフリカ・オセアニアの歴史を学びます。
・学習するべき用語、単語は膨大ですから、単に暗記に頼った学習では行き詰まってしまいます。時代や地域ごとの政治や社会、文化を俯瞰しながら、その特徴を地理的諸条件や現代の社会と関連づけて考察するまなざしが欠かせません。こうした「歴史的思考力」を育成するため、授業では定期考査にくわえて、レポート課題や発表の成果も重視して評価します。
・授業では、すべての時代・地域を網羅するように計画しますが、時間の制約から教科書に書かれている事項すべてをとりあげることはできません。教科書を精読して、授業で扱えなかった事項も含め、理解を深める努力をしてください。

２　学習の到達目標

＜知識及び技能＞
世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解しているとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
＜思考力、判断力、表現力等＞
世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
＜学びに向かう力、人間性等＞
世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

※令和４年度以降入学生用

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識及び技能	b:思考力、判断力、表現力等	c:学びに向かう力、人間性等
観点の趣旨	世界の諸地域における歴史的事項を、それぞれの時代・地域に特有の自然環境や地理的条件と関連づけて多角的に理解することができている。	学習した歴史的事項について、その歴史的位置づけや異なる時代・地域にも共通する評価を探究するなかで、歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を設定し、課題を解決する力を身につけている。	広い視野に立って歴史的事項に対して思索を深め、あらゆる社会事象とのつながりを主体的に模索しようとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
１学期	諸地域の交流・再編	・ヨーロッパ世界の変容と展開 中世封建社会、中世ヨーロッパの文化 ・東アジア世界とモンゴル帝国 アジア諸地域の自立と宋、モンゴルの大帝国 ・大交易・大交流の時代 大航海時代とアメリカ大陸の変容 ・アジア諸帝国の繁栄 オスマン帝国、サファヴィー朝、ムガル帝国、清代の中国 ・近世ヨーロッパ世界 ルネサンス、宗教改革、主権国家体制の成立、科学革命と啓蒙思想	a:世界の中世および近世社会の特質を自然環境、地理的条件と関連づけて理解している。 b:世界の中世および近世社会のありようが古代文明の影響をどのように受けて形成され、のちの近代国家形成にどのように影響したか、多角的に考察することができ、その成果を表現できる。 c: 学習したことを手がかりに広い視野に立って社会的事象とのつながりを模索しようとしている。	定期考査	定期考査 ワークシート	ワークシート

※令和４年度以降入学生用

2学期	諸地域の結合・変容	・近代国家形成 産業革命、アメリカ合衆国の独立、フランス革命とナポレオン、ウィーン体制、19 世紀半ばのヨーロッパ政治、アメリカ合衆国の発展、19 世紀欧米文化と市民文化の繁栄 ・アジア諸地域の動揺 ・帝国主義と二つの世界大戦 第 2 次産業革命と帝国主義、列強の世界分割、第一次世界大戦、ロシア革命、ヴェルサイユ体制、第二次世界大戦	a:世界の近代社会の特質を自然環境、地理的条件と関連づけて理解している。 b:世界の近代社会のありようが近世社会の影響をどのように受けて形成され、のちの現代社会にどのように影響したか、多角的に考察することができ、その成果を表現できる。 c: 学習したことを手がかりに広い視野に立って社会的事象とのつながりを模索しようとしている。	定期考査	定期考査 ワーク シート	ワーク シート
3学期	地球世界の課題	・冷戦と第三世界の台頭 冷戦の展開、第三世界の台頭とキューバ危機、冷戦体制の動揺 ・冷戦の終結と今日の世界 産業構造の変容、冷戦の終結	a:世界の現代社会の特質を自然環境、地理的条件と関連づけて理解している。 b:世界の現代社会のありようが近代社会の影響をどのように受けて形成されたか、多角的に考察することができ、その成果を表現できる。 c: 学習したことを手がかりに広い視野に立って社会的事象とのつながりを模索しようとしている。	定期考査	定期考査 ワーク シート	ワーク シート

※　表中の観点について　a:知識及び技能　b:思考力、判断力、表現力等　c:学びに向かう力、人間性等